



2016.6.16

報道関係各位

アストンマーティン・ジャパン

PressRelease

アストンマーティン、DB9「Last of 9」を発表

- DB9 の有終の美を飾るクーペとヴォランテの各 9 台を製造
- 日本に導入される 3 台はコレクター注目の的
- Q by Aston Martin による専用アイテムを装備



2016 年 6 月 16 日 東京：

アストンマーティンは、アイコン・モデルとして君臨する DB9 のファイナル・バージョン、「Last of 9」を発表します。英国ゲイドンにある最先端のファクトリーで製造された最初のモデルとなった DB9 は、ワールドクラスの GT パフォーマンスと卓越したクラフツマンシップを特徴としています。

DB9 は、アストンマーティン・ブランドにおけるスポーツカー・ラインナップの主力車種であり、最新バージョンの DB9 GT は、ジェームズ・ボンド・エディションとして限定生産され、コレクターの間で大きな話題を集めました。わずか 18 台のみが製造され、日本市場には 3 台のみが導入される「Last of 9」は、アストンマーティン・エンスージアストおよびコレクターにとって、注目の的となっています。



「Last of 9」の製造は、アストンマーティンのビスポーク的パーソナライゼーション部門である Q by Aston Martin の手に委ねられ、輝かしい DB の血統を反映したユニークでラグジュアリーな専用アイテムが装備されます。エクステリア・カラーには、Q ヘリテージ・カンバーランド・グレイが採用される一方で、インテリアにはサンドストーム・ゴールドレザーの装飾ピnstライプを備えたセミアニリン・ビターチョコレート・カラーの本革シートが奢られます。インテリアには「Last of 9」の刺繍が施され、ヘッドライニングはカシミア張りとなります。

クルマのフロントとリヤを飾るマザー・オブ・パール製のインレイ・ウイング、V12 エンジンに装着される Q by Aston Martin プレート、フェンダーに装着されるブラック塗装の「Last of 9」バッジなど、特別な限定バージョンにふさわしいカスタムメイドのバッジも製作されました。ダッシュボードには、フィドルバックと呼ばれる、木目を美しく揃えたウッドパネルが採用され、ビレット・アルミニウム製のロータリー・スイッチには、機械加工による飾り模様が施されています。

「Last of 9」をご購入いただいたお客様には、製造プロセスを記録した Q by Aston Martin ブックが贈呈されると共に、アストンマーティン・オーナーズ・クラブへの登録が公式に行われます。これによって、クルマの出自が明らかになると同時に、コレクターズ・アイテムとしての価値も高まります。さらにお客様は、クルマの製造工程を見学するために、アストンマーティン本社を訪れることもできます。

###

「Last of 9」の画像は、こちらよりダウンロードいただけます。

<https://we.tl/Yy6aFb8e9n>

詳しい情報は、ウェブサイト(www.astonmartin.com または www.astonmartin.com/media)から入手可能です。

ブランド・コミュニケーションチームの [Twitter](#) も開設されています。

アストンマーティン・ソーシャルメディア・チャンネルは、以下のリンクからアクセスできます。

- [Facebook](#)
- [Twitter](#)
- [Instagram](#)
- [Google+](#)
- [Pinterest](#)
- [YouTube](#)
- [LinkedIn](#)



- [Vine](#)

アジア・パシフィック・メディア問い合わせ先:

コスモ・コミュニケーションズ

アストンマーティン PR チーム

今野 博文

Tel: 03-6434-5839

M: 090-6180-0281

hirofumi_konno@my-z.co.jp